



試合番号 : 335		試合会場 : 京都市体育館				観客数 : 587					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:38		試合時間 : 01:38		主審 : 國頭 亮太		副審 : 長崎 有紗			
埼玉上尾メディックス		通算 5勝 3敗 ポイント : 16		16 第1セット 25		日立Astemoリヴァーレ		通算 4勝 4敗 ポイント : 12			
監督コメント	<p>今日もご声援ありがとうございました。日立の攻撃に対して受身になってしまい、苦しい展開が続きました。しかし、選手たちは気持ちを切らさず、最後まで戦ってくれたことを嬉しく思います。この経験を自分たちの成長に繋げて行きたいです。引き続きご声援よろしくお願い致します。</p>			0		3		<p>昨日の敗戦から全員がチームのために何が出来るか考え、意識を変えて試合に入りました。お互いの良いところを引き出し、悪いところはカバーし合えた自信に繋がるゲームができ、勝てたことを素直に嬉しく思います。この気持ちを忘れずに、この先も一戦一戦大事に戦っていきます。緊張感と責任感のある魂を込めた試合で、皆さんに感動をお届けできるよう取り組んでいきますので、引き続きご声援をよろしくお願い致します。</p>			
										14 第2セット 25	
										26 第3セット 28	
										第4セット	
										第5セット	
<p>要約レポート</p> <p>連勝を狙う埼玉上尾メディックスと、連敗を止めたい日立Astemoリヴァーレの一戦。第1セット、日立Astemoがキャプテン長内のスパイクで序盤から流れをつかむ。中盤以降も、クイックやバックアタックを織り交ぜるセッター雑賀の多彩なトス回しで得点を重ね、このセットを日立Astemoが危なげなく先取した。第2セットも日立Astemoが序盤からリードする展開となった。流れを変えたい埼玉上尾は、目黒のスパイクなどで一時、点差を詰めたが、日立Astemoタップのクイックやブロックが随所で決まり、日立Astemoがセットを連取した。第3セットは、互いにサイドアウトを取り合う一進一退の攻防となった。後がない埼玉上尾は、仁井田のスパイクなどで中盤にリードを奪う。しかし、日立Astemoも譲らず、入澤のスパイクなどで追いつき、試合はデュースにもつれ込む。最後は、日立Astemoが長いラリーを制し、ストレートで勝利を収めた。</p>											

試合番号 : 336		試合会場 : 山陽ふれあい公園総合体育館				観客数 : 700					
開始時間 : 13:30		終了時間 : 15:50		試合時間 : 02:20		主審 : 高橋 宏明		副審 : 上村 英紀			
岡山シーガルズ		通算 2勝 4敗 ポイント : 8		25 第1セット 23		PFUブルーキャッツ		通算 2勝 6敗 ポイント : 8			
監督コメント	<p>2セット連取したことでスキが出たことが敗因である。昨日のように相手の攻撃を防ぎきるブロックを中心としたディフェンスが今一歩足りなかった。敗因をよく考え、次週の岡山大会に修正して臨みたい。ホームタウンでの大会、たくさんの温かい拍手に後押しされました。ありがとうございました。</p>			2		3		<p>昨日の悔しい敗戦のあと、選手達はよく持ち直して戦うことができた。精神的にも厳しかったと思うが、集中して全力を尽くすことができた。まさに総力結集、全員活躍で戦うことができたゲームだった。来週のホームゲームに向けて、しっかり準備をして戦いたい。本日も応援、ありがとうございました。</p>			
										25 第2セット 21	
										19 第3セット 25	
										21 第4セット 25	
										12 第5セット 15	
<p>要約レポート</p> <p>第1セット、序盤から岡山は佐伯や高柳、PFUはアコスタやジャンを中心に得点を重ね互角の展開となる。中盤まで一進一退の攻防は続くが、終盤に岡山は中本や佐伯の得点などで競り合いを制し、セットを先取した。第2セット、このセットも立ち上がりからお互いが持ち味を発揮し、互角の展開が続くが、中盤、岡山は付のサービスエースや中本のアタックなどで徐々にリードを奪う。PFUもジャンを中心に反撃を試みるが、岡山はその後佐伯や付を中心に得点を重ね、このセットも連取した。第3セット序盤、何とかリズムを掴みたいPFUはアコスタやバルデスを中心に得点を重ねリードを奪う。岡山も佐伯や中本を中心に攻撃するが、PFUは高相やバルデスのブロックなどでリードを広げる。その後アコスタを中心に得点し、PFUがこのセットを奪った。第4セット、序盤から岡山はタナッチャや高柳、PFUはバルデスなどの得点で互角のスタートを切る。中盤以降も一進一退の展開は続くが、終盤、PFUはアコスタやバルデスの得点で抜け出し、フルセットへ持ち込んだ。勝負のかかった最終セット、立ち上がりから好ラリーが続く観客が沸く中、岡山は佐伯や中本、PFUはバルデスが得点を重ねる。中盤、PFUはアコスタのアタックなどでリードを奪うが、岡山も粘り強いレシーブからの多彩な攻撃で反撃し、競り合いは続く。しかし最後は、PFUがバルデスの連続得点で逃げ切り、逆転で激戦を制した。</p>											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									